AGC

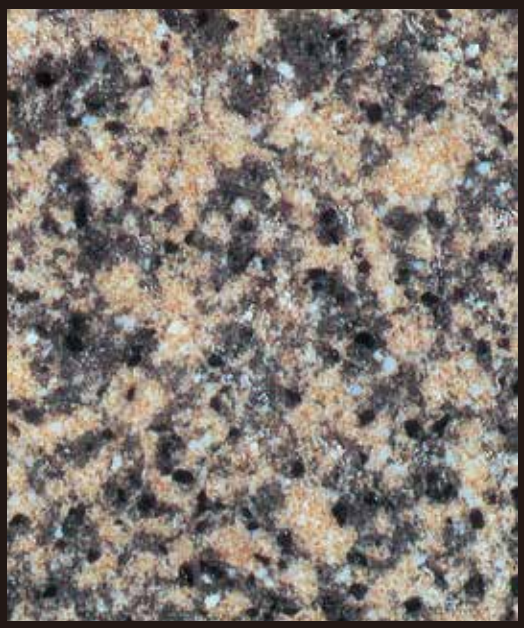
Your Dreams, Our Challenge

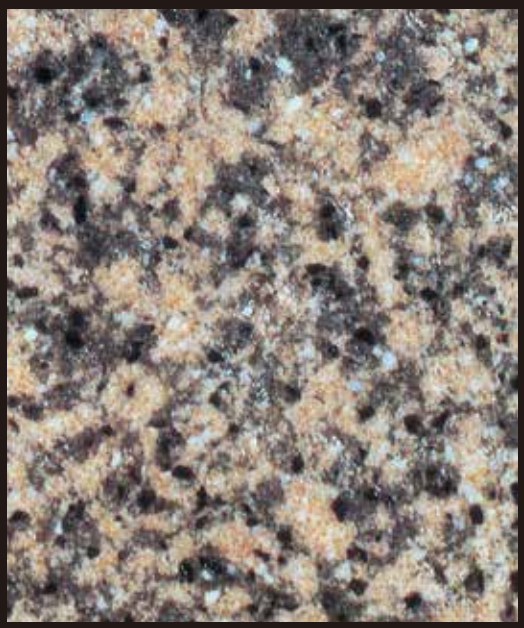
BONNCERA

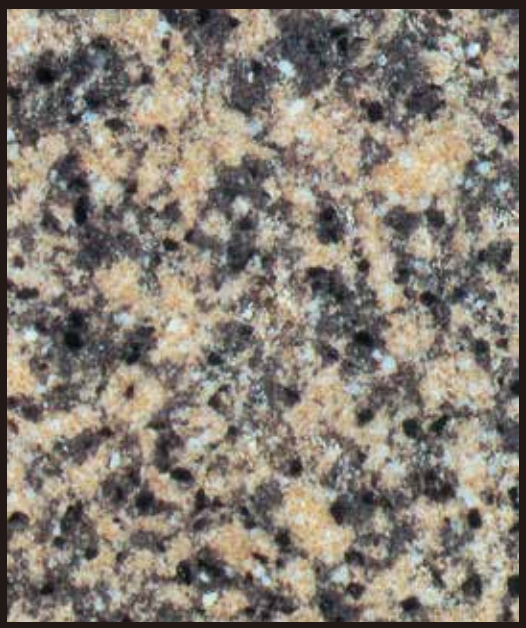
天然石調仕上塗材フッ素樹脂塗料クリヤー仕上

ボンセラ

BONNFLON







BONNOCERA

石の質感を追求する壁装材

ボンセラ

天然石調仕上塗材フッ素樹脂塗料クリヤー仕上

ボンセラは、陶磁器砕粒や大理石の有色骨材で着色し、
耐候性に優れた特殊合成樹脂をバインダーに使用した
立体感あふれる疑石模様の重厚な仕上塗材です。
高耐候性フッ素樹脂クリヤー塗料「ボンフロン＃2050SRクリヤー」
or「ボンフロン水性UVカットクリヤー」を上塗に使用することで
耐久性が大幅にのびました。

特長

豪華な石模様

陶磁器砕粒と大理石砂を組み合わせた発色は限りなく天然石に近い質感を表現します。

すぐれた耐久性

上塗りにフッ素樹脂クリヤー塗料「ボンフロン＃2050SRクリヤー」or「ボンフロン水性UVカットクリヤー」を塗装することで優れた耐久性を発揮します。

安定した色調

陶磁器および大理石の粉体で着色するため変退色はありません。

自　由　な　目　地　模　様

①シングル目地

②江戸切り目地

③片江戸切り目地

④ボーダー目地

目　地　色

M-01（ダークグレー色）

M-02（セメントフィラー色）

M-03（モルタル色）

※印刷物であるため実物とは多少異なりますのでご了承ください。

品種

商品名	目地の工法	模様（色調）
ボンセラ SFC	目地無し工法	単色Ｓ主材（Ａ色＋Ａ色）
	シングル目地工法	単色Ｓ主材（Ａ色＋Ａ色）
ボンセラ WFC	シングル目地工法	２色Ｗ主材（Ａ色＋A色＋B＋A色）
	江戸切り目地工法	２色Ｗ主材（A色＋A色＋B色＋A色＋A色＋B色＋A色）
ボンセラ ALC-FC	目地無し工法	単色Ｓ主材（Ａ色＋Ａ色）

ハイアット・リージェンシーホテル
設計／前田建設工業
施工／前田建設工業

TANGO 33
設計／交建設計
施工／安藤建設

深谷市総合体育館
設計／相和技研研究所
施工／古郡・鈴木・石川共同企業体

中央区立月島第三小学校等複合施設
設計／I.N.A.新建築研究所
施工／竹中・浅沼・杉山建設共同企業体

設計・施工上のご注意

1. 目地取りについて

施行する塗布面の目地取りは、できるだけ短い間隔でご計画ください。1スパンの塗布面が極端に大きくなると、吹き継ぎムラなどを生じ美観をそこねます。さらに経年変化による構造収縮クラックが発生した時、塗膜性能上に問題が生じる場合があります。

2. シーリング材上への塗装について

シーリング材の上にボンセラ塗装を行うことは避けてください。短期的には密着するものもありますが、長期的にみた場合、シーリング材の伸縮に追従できず割れが発生します。

3. 足場の条件

足場は本足場で、躯体と足場の間隔は最低30cmは離してください。また吹付け時は足場ブレスは取り除いてください。

施工上のご注意

1. 施工と気象条件

(1)ボンセラは厚付けであるので、低温時(5℃以下)および降雨、降雪に注意し、また夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時迄に作業を打ち切るようにしてください。

(2)5℃以下の低温、または85%以上の高湿では、材料の性能発揮が遅れたり性能が低下しますので、施工を避けてください。

(3)降雨、降雪時、およびその直前・直後に施行すると塗膜の流出や造膜不良が発生します。施行中に降雨、降雪にあった場合は直ちに施工を中止し、シート養生して塗装面を保護してください。

(4)吹付けの区切りは目地に沿って行い、ブロック毎に吹付けてください。

(5)サッシ廻り等の見切りは捨テープを用い、きれいに仕上げてください。

(6)強風の場合は、塗装ムラ、飛散汚傷が発生しますので施工を避けてください。

(7)気象の変化により、下地や塗布面に結露が生じた場合には、直ちに施工を中止してください。

2. 調合上のご注意

(1)塗料は2液反応硬化型なので配合比に注意して調合し、硬化剤添加後は十分撹拌して混合ムラのないようにしてください。

(2)硬化剤は湿度と敏感に反応し、変化しやすい性質を持っています。使い残しの硬化剤は使用後直ちに完全密閉してください。

(3)シンナーはボンフロンシンナーを使用してください。

3. 汚染処理

材料が硬化した後の清掃は難しくなります。汚れはその都度すみやかに処理してください。

4. 労働環境

有機溶剤を使用するので、換気や火気に十分注意を払ってください。

下地の適応性

打放しコンクリート、モルタル、PC、GRC、押出成型板、サイディング材等。
ALCはフィラー処理後、ボンセラALC-FC仕様。

下地の条件

下地の表面含水率とアルカリ度

表面含水率	10%以下	Kett高周波水分計測定	コンクリート、セメントモルタルなどに適用
	5%以下	サンコー電子水分計測定	スレート板、パネル板などに適用
アルカリ度	pH10以下	pH試験紙測定	適合素材すべてに適用

下地の乾燥養生期間

下地の調整 / 乾燥養生期間	打放しコンクリート	下地調整用 樹脂モルタル
夏　季	21日以上	7日以上
冬　季	28日以上	10日以上

下地の調整

1. 下地の清掃

下地表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、レイタンス、ほこりなど吹付塗装に支障をきたす付着物は、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、サンダー掛けなどによって除去してください。

2. 離型材、油脂類の除去

下地に離型材、油脂類などが付着している場合は、ラッカーシンナーで拭き取るか、ワイヤーブラシ、サンドペーパー、サンダー掛けなどによって除去してください。

3. 金属類の除去

コンクリート、PC板などの下地に残留する金属類（鉄筋、セパレーター、番線、ビス釘等）は除去するか、防錆処理を施してください。

4. 下地の平滑化

下地に、型枠の不陸、目違い、ジャンカ、ピンホール、欠損などがある場合は、下地素材に適した材料で平滑に調整してください。

5. ひび割れの処理

下地が収縮ひび割れを起こしている場合、その個所が平滑になるように調整してください。小さなひび割れはエポキシ樹脂を注入して処理し、大きなひび割れはVカット後、エポキシパテなどを埋め込み、平滑にしてください。

6. 不良部分の調整

下地表面に硬化不良や強度の弱い個所がある場合は、不良部分を取り除き、セメント系フィラーなどで調整してください。

施工工程

1 素地調整および保護養生――共通

素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整してください。また施工面の周辺、取り付け済みの部品などを汚したり、損傷を与えないように十分な保護養生をしてください。

2 プライマー――共通

ボンセラプライマーは２倍量の清水を加えてオートマザールでよく撹拌し、エアレス、エアスプレー、ローラー、刷毛にて均一に塗布してください。

3 目地着色――目地工法

ボンセラ着色プライマーは８～10%の清水を加えてオートマザールでよく撹拌し、エアレス、エアスプレー、ローラー、刷毛にて均一に塗布してください。使用個所は目地を取る面、色はM-01・M-02・M-03の３色があります。

4 墨打ち――目地工法

指定通りの目地割付けになるように寸法を確認して墨打ちします。（白色のチョークを使用すると便利です）

5 目地貼付――目地工法

①専用目地材は墨打ちに沿って正確に貼付けしてください。
②横目地は定規を当てて貼付けしてください。
③目地材は接着力が強いため、ボンセラ着色プライマーが剥がれてこないように十分に乾燥させてから目地材を貼付けしてください。

6-1 主材吹き〈SFC単色模様〉

①ボンセラ主材S（23kg/缶）をオートマザールでよく撹拌しながら、清水（２～４%）を加えて粘度を調整してください。
②下吹きは、リシンガンおよびタイルガンにて下地を完全に隠蔽するように均一に吹付けしてください。（ガン口径５～６mm、吹付圧５～６kg/cm²）
③上吹きは、下吹きが指触乾燥後、凹凸がムラにならないようにパターンを揃えながら吹付けしてください。（タイルガン口径6～10mm、吹付圧3～5kg/cm²）

6-2 主材吹き〈WFC２色模様〉

①２色等の複色模様の場合は、本施工をする前に必ずテスト施工をして、色柄、パターン等を見本に合うように調整してください。
②ボンセラW主材〈A色、B色〉（23kg/缶）をオートマザールでよく撹拌しながら、清水（２～４%）を加え、粘度を調整してください。主材の粘度は色調により多少異なりますので調合時に注意してください。
２色吹きは、下・上吹き用〈A色〉と、上吹き用〈B色〉共、ガンからの吐出量を一定にした方が仕上がりが良いので、A色、B色の粘度は同一であることが望ましいです。調合の際は粘度を合わせてください。
③下吹き-1〈A色〉は、下吹き-２以降の吹き重ねした主材が流れないようにするために目荒し吹きをしてください。（リシンガン口径５～６mm、吹付圧５～６kg/cm²）
④下吹き-２〈A色〉は、下吹き-1〈A色〉が乾燥後（3時間以上20℃）、下地を完全に隠蔽するよう均一に吹付けてください。（タイルガン口径６～10mm、吹付圧５～６kg/cm²）
⑤上吹き-1〈B色〉は、下吹き-２〈A色〉が半乾状態の時に、A色に対してムラのないように斑点ちらし吹きをしてください。（タイルガン口径６～10mm、吹付圧３～５kg/cm²）
⑤上吹き-２〈A色〉は、上吹き-1〈B色〉が半乾状態の時に、B色の斑点ちらし吹きの際に生じたムラにA色をちらし吹きして修正してください。（タイルガン口径６～10mm、吹付圧３～５kg/cm²）

6-3 主材吹き〈WFC２色模様〉江戸切り目地工法

①6-2.主材吹き（2色模様）が完了後、主材表面が乾燥する前に目地養生材の上部養生紙を取ってください。
②24時間以上乾燥後、目地部にサンダー（#30～40ペーパーを使用）をかけます。研摩は目地部両サイドだけで、片側（20～25mm）を平滑にします。
③サンダー処理による研摩粉、ゴミ等を除去し、目地の貼り付け養生をしてください。また目地中心部は紙テープで養生してください。
④下吹き-２〈A色〉
⑤上吹き-1〈B色〉6-2.参照
⑥上吹き-２〈A色〉

7 目地紙取り――〈シングル目地工法〉

①主材が乾燥する前に目地材上部の養生紙を取ってください。
②目地材上部の養生紙取りが遅れて、ボンセラ主材の表面が乾燥し膜を張ってしまった場合は、主材が完全に乾燥してしまってからカッターナイフ等を使って主材層を切り、目地の養生紙を取ってください。

8 サンダー掛け――〈共通〉

主材が乾燥後（主材吹付け後24時間以上）、主材の凹凸をデスクサンダー（#30～40）でサンダー掛けをしてください。

9 目地取り――〈シングル目地工法〉

主材が乾燥後（主材吹付け完了後24時間以上）、目地養生材のすべてを除去してください。

10 仕上塗――〈共通〉

ボンフロン#2050SR主材（12.5kg/缶）と硬化材（2.5kg/缶）を混ぜてよく撹拌し、シンナー（30～50%）を加えて粘度を調整してください。

11 養生剥ぎ取り――〈共通〉

塗装面の仕上げ検査を行った後、保護養生紙を剥ぎ取ります。特に塗装仕舞いの見切りを美しくするよう注意してください。

ボンセラ
標準仕様

工法名：ボンセラSFC（目地無）

	工　程	使用材料と調合割合	塗布量（kg/m²）	施　工　方　法	塗回数	塗間隔（20℃）
1	素地調整	素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整する。				
2	プライマー	ボンセラプライマー　18kg/缶 清水：36ℓ	0.2～0.3	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1	3時間以上
3	下吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.5～2.0	リシンガン（口径5～6mm） タイルガン（　〃　） 吹付圧　5～6kg/cm²	1	追吹き
4	上吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.5～2.0	タイルガン（口径6～8mm） 吹付圧　3～5kg/cm²	1	24～48時間以上
(5)	（サンダー掛け）	（デスクサンダー（#30～#40）で凸部をサンダー掛けする）				
6	仕上塗	#2050SR（12.5：2.5） 15kg/セットにシンナー30～50%	0.2～0.25	エアレス エアスプレー	2	3時間以上

（注）仕上塗にボンセラウレタントップを使用する場合もあります。

工法名：ボンセラSFC（シングル目地）

	工　程	使用材料と調合割合	塗布量（kg/m²）	施　工　方　法	塗回数	塗間隔（20℃）
1	素地調整	素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整する。				
2	プライマー	ボンセラプライマー　18kg/缶 清水：36ℓ	0.2～0.3	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1	3時間以上
3	目地着色	ボンセラプライマー　20kg/缶 清水：2ℓ	0.3～0.4	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1～(2)	24時間以上 ～7日以内
4	墨打ち	指定通りの目地割付けになるように寸法を確認して墨打ちする。				
5	目地貼付	専用目地養生材を墨打ちに沿って正確に貼付する。				
6	下吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.0～1.5	リシンガン（口径5～6mm） タイルガン（　〃　） 吹付圧　5～6kg/cm²	1	3時間以上
7	上吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	3.5～4.0	タイルガン（口径6～10mm） 吹付圧　3～5kg/cm²	1	20分以内
8	目地紙取り	主材表面が乾燥する前に目地養生材の上部養生紙を取る。				24～48時間以上
(9)	（サンダー掛け）	（デスクサンダー（#30～#40）で凸部をサンダー掛けする）				
10	目地取り	24時間以上乾燥後、目地養生材を除去する。				24～48時間以上
11	仕上塗	#2050SR（12.5：2.5） 15kg/セットにシンナー30～50%	0.2～0.25	エアレス エアスプレー	2	3時間以上

（注）仕上塗にボンセラウレタントップを使用する場合もあります。

工法名：ボンセラALC-FC（目地無）

	工　程	使用材料と調合割合	塗布量（kg/m²）	施　工　方　法	塗回数	塗間隔（20℃）
1	素地調整	素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整する。				
2	プライマー	ボンセラプライマー　18kg/缶 清水：36ℓ	0.2～0.3	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1	3時間以上
3	下吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.3～1.5	リシンガン（口径5～6mm） タイルガン（　〃　） 吹付圧　5～6kg/cm²	1	追吹き
4	上吹き	ボンセラS主材　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.3～1.5	タイルガン（口径6～8mm） 吹付圧　3～5kg/cm²	1	24～48時間以上
(5)	（サンダー掛け）	（デスクサンダー（#30～#40）で凸部をサンダー掛けする）				
6	仕上塗	#2050SR（12.5：2.5） 15kg/セットにシンナー30～50%	0.2～0.25	エアレス エアスプレー	2	3時間以上

（注）仕上塗にボンセラウレタントップを使用する場合もあります。

工法名：ボンセラWFC（シングル目地）

	工　程	使用材料と調合割合	塗布量（kg/m²）	施　工　方　法	塗回数	塗間隔（20℃）
1	素地調整	素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整する。				
2	プライマー	ボンセラプライマー　18kg/缶 清水：36ℓ	0.2～0.3	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1	3時間以上
3	目地着色	ボンセラ着色プライマー　20kg/缶 清水：2ℓ	0.3～0.4	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1～(2)	24時間以上 ～7日以内
4	墨打ち	指定通りの目地割付けになるように寸法を確認して墨打ちする。				
5	目地貼付	専用目地養生材を墨打ちに沿って正確に貼付する。				
6	下吹き-1 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	1.0～1.5	リシンガン（口径5～6mm） 吹付圧　5～6kg/cm²	1	3時間以上
7	下吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	3.0～3.5	タイルガン（口径6～10mm） 吹付圧　5～6kg/cm²	1	追吹き
8	上吹き-1 （B色）	ボンセラW　主材B色　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	0.5～1.5	タイルガン（口径6～10mm） 吹付圧　3～5kg/cm²	1	追吹き
9	上吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5～1ℓ	0.5～1.5	タイルガン（口径6～10mm） 吹付圧　3～5kg/cm²	1	20分以内
10	目地紙取り	主材表面が乾燥する前に目地養生材の上部養生紙を取る。				24～48時間以上
(11)	（サンダー掛け）	（デスクサンダー（#30～#40）で凸部をサンダー掛けする）				
12	目地取り	24時間以上乾燥後、目地養生材を除去する。				24～48時間以上
13	仕上塗	ボンセラフロントップ（13：1） 14kg/セットにシンナー　30～50%	0.2～0.25	エアレス カップガン	2	3時間以上

（注）仕上塗にボンセラウレタントップを使用する場合もあります。

ボンセラの試験成績表

試験項目		試験結果	JIS-A-6909規格
低温安定性		異状なし	塊の有無、組成分の分離凝集などのないこと
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		異状なし	3m/secの気流でひび割れを生じないこと
付着強さ	標準状態	0.55N/mm²	0.5N/mm²
	浸水後	0.85N/mm²	0.3N/mm²
温冷繰り返し作用に対する抵抗性		異状なし	はがれ、ひび割れ、膨れがなく、著しい変色および光沢低下がないこと
透水性		0.007cm	60分間の浸水量を求める
耐洗浄性		異状なし	500回往復で、はがれ、磨耗による基板の露出がないこと
耐衝撃性		異状なし	はがれ、磨耗による基板の露出がないこと

工法名：ボンセラWFC（江戸切り目地）

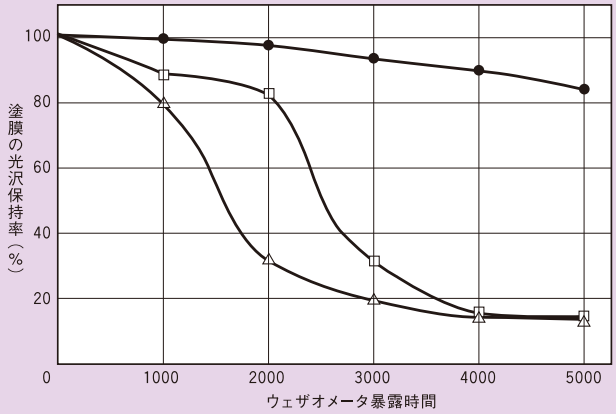
	工　程	使用材料と調合割合	塗布量（kg/m²）	施　工　方　法	塗回数	塗間隔（20℃）
1	素地調整	素地表面に付着しているエフロ粉や未硬化セメント粉、油脂、汚れ等を完全に除去し、亀裂、不陸、巣穴などは左官工法により調整する。				
2	プライマー	ボンセラプライマー　18kg/缶 清水：18ℓ	0.13〜0.3	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1	3時間以上
3	目地着色	ボンセラ着色プライマー　20kg/缶 清水：2ℓ	0.3〜0.4	エアレス、エアスプレー ローラー、刷毛	1〜(2)	24時間以上 〜7日以内
4	墨打ち	指定通りの目地割付けになるように寸法を確認して墨打ちする。				
5	目地貼付	専用目地養生材を墨打ちに沿って正確に貼付する。				
6	下吹き-1 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	1.0〜1.5	リシンガン（口径5〜6mm） 吹付圧　5〜6kg/cm²	1	3時間以上
7	下吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	3.0〜3.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　5〜6kg/cm²	1	追吹き
8	上吹き-1 （B色）	ボンセラW　主材B色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	0.5〜1.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　3〜5kg/cm²	1	追吹き
9	上吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	0.5〜1.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　3〜5kg/cm²	1	20分以内
10	目地紙取り	主材表面が乾燥する前に目地養生材の上部養生紙を取る。				24時間以上
11	（サンダー掛け）	24時間以上乾燥後、目地部にサンダーを掛ける。#30〜#40ペーパーを使用。				
12	目地貼付	サンダーにより生じた塵粉を除去し、専用目地養生材を貼付ける。中心部は紙テープにて養生。				
13	下吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	3.0〜3.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　5〜6kg/cm²	1	追吹き
14	上吹き-1 （B色）	ボンセラW　主材B色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	0.5〜1.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　3〜5kg/cm²	1	追吹き
15	上吹き-2 （A色）	ボンセラW　主材A色　23kg/缶 清水：0.5〜1ℓ	0.5〜1.5	タイルガン（口径6〜10mm） 吹付圧　3〜5kg/cm²	1	20分以内
16	目地紙取り	主材表面が乾燥する前に目地養生材の上部養生紙を取る。				24〜48時間以上
17	サンダー掛け	デスクサンダー（#30〜#40）で凸部をサンダー掛けする。				
18	目地取り	24時間以上乾燥後、目地養生材を除去する。				
19	仕上塗		0.2〜0.25	エアレス カップガン	2	3時間以上

（注）仕上塗にボンセラウレタントップを使用する場合もあります。

ボンフロン＃2050SRの促進耐候性試験

ボンフロンは、きわめてすぐれた耐候性を示します。サンシャインウェザオメーターによる促進耐候性試験で、4000時間の暴露に対しても、光沢保持率は10%以下しか低下しません。これは一般的な塗料試験の評価では、20年たっても90%以上の光沢を保持するということになります。

●塗料の促進耐候性試験



材料荷姿

	材　料　名	入　目
下　塗　料	ボンセラプライマー ボンセラ着色プライマー　M-01 M-02 M-03	18kg/缶 20kg/缶 20kg/缶 20kg/缶
主　　材	ボンセラＳ主材 ボンセラW主材	23kg/缶 23kg/缶
仕　上　材	ボンフロン＃2050SR（主剤） ボンセラフロントップシンナー	12.5kg/缶 2.5kg/缶 16ℓ/缶 } 15kg/セット
目　地　棒	ボンセラ目地棒 幅　：5、7、10、15mm 長さ：1m×100本	

材料保管上のご注意

■防災上の保管義務

塗料、シンナー硬化剤などは、危険物取り扱い商品に該当するものがありますので、保管場所には必ず●危険物表示を行い、●消火器を設置してください。また、溶剤系材料の現場納入は、消防法で決められた指定数量の範囲でお願いします。

■材料の品質管理上のご注意

材料は●不純物の混入防止●低温時の凍結防止などの品質管理上、できるだけ屋内に保管してください。やむをえず屋外に保管する場合は敷板の上に置き、保護シートなどでカバーしてください。

Your Dreams, Our Challenge

ルミフロンはAGC(株)の登録商標です。　ボンフロンはAGCコーテック(株)の登録商標です。

2020. 10.　TPS

AGCコーテック株式会社 https://www.agccoat-tech.co.jp/
本　　社　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2-9　コンフォール安田ビル5F　TEL：03-5217-5101　FAX：03-5217-5106
西日本支店　〒530-0012　大阪府大阪市北区芝田1-1-4　阪急ターミナルビル12F　TEL：06-7663-0695　FAX：06-7663-0697